

試合番号 : 157		試合会場 : 松本市総合体育館				観客数 : 1,210			
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:20		試合時間 : 02:20		主審 : 戸川 太輔		副審 : 中西 幸治	
VC長野トライデンツ		通算 1勝 11敗 ポイント : 4		23 第1セット 25		パナソニックパンサーズ		通算 9勝 3敗 ポイント : 27	
監督コメント	2020年最後のホームゲームで何とか勝つ姿をお見せし、日頃の感謝を伝えたかっただけに、本当に大きな勝利を手にすることができました。嬉しい1勝となりました。来週は年内最後のリーグ戦となりますので、気持ちをリセットして準備したいと思っております。2日間ホームでの応援、本当にありがとうございます。これからも応援よろしくお祈りいたします。			3		2		昨日と比べると、お互い全く違うチームだったと思います。どうにか解決しようと思いましたが、アタックの効果が低すぎました。VC長野は良いプレーをしていました。ファンの皆さまには申し訳ないですが、来週は勝てるようしっかり練習します。応援よろしくお祈りいたします。	
				25 第2セット 20					
				20 第3セット 25					
				25 第4セット 20					
				15 第5セット 10					
要約レポート									
競り合いに持ち込み初勝利を目指したいVC長野トライデンツと、昨日の試合でストレート勝ちし勢いに乗るパナソニックパンサーズの戦い。第1セット、序盤はレシーブで粘ったVC長野が戸島のスパイクやブロックでリードする。対するパナソニックは大竹のバックアタックと久原のサービスエースで逆転する。中盤は一進一退の攻防が続いたが、終盤、渡辺と大竹のスパイクとブロックが決まり抜け出したパナソニックが接戦をものにした。第2セット、最終VC長野がリードする展開。VC長野は森崎、笠利、リヴァンの攻撃が要所で決まり得点を重ねる。パナソニックも大竹、渡辺のスパイクで反撃するが、中盤以降リードを許すことがなかったVC長野がセットを取り返した。第3セット、序盤からVC長野リヴァンとパナソニック大竹の打ち合いで一進一退の攻防が続く。終盤、パナソニックは渡辺のスパイクと久原のスパイクで抜け出し、このセットを取った。第4セット、VC長野は笠利のスパイクやリヴァンの2本のブロックで8-5と先行する。その後も森崎のブロックや戸島のバックアタックで点数を広げる。パナソニックは途中出場の今村や渡辺のスパイクで反撃するが、勢いが止まらないVC長野がセットを取り返した。第5セット、VC長野は笠利、リヴァンのスパイクや矢野のサービスエースが決まり、序盤にリードする。パナソニックも渡辺、大竹、久原のスパイクで追い上げるが、VC長野は相手のミスを誘うプレーでリードを広げる。終盤、リヴァンにボールを集めたVC長野がセットを取り、ホームゲームで嬉しい初勝利を飾った。									
試合番号 : 158		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 1,200			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:19		試合時間 : 01:19		主審 : 山本 和良		副審 : 沢田 元	
ウルフドッグス名古屋		通算 10勝 2敗 ポイント : 29		25 第1セット 19		大分三好ヴァイセアドラー		通算 0勝 12敗 ポイント : 2	
監督コメント	昨日の反省点、チームの課題をミーティングで話し合っって臨んだ試合で。相手の両サイドからの攻撃に苦しめられる展開があり、今日もタフな試合となりましたが、選手一人ひとりのプレーにより要所でウルフドッグス名古屋が目指すものを見ることができたと思います。本日は2020年最後の豊田合成記念体育館「エントリオ」でのホームゲームでした。いつも応援してくださるサポーターの皆さま、ありがとうございます。これからもご声援の程、よろしくお祈りいたします。			3		0		ウルフドッグス名古屋の効果的なサーブで崩され、サイドアウトにおいて苦しい展開となりました。我々も中盤までは良い流れを作りましたが、終盤のミスが響き、2日間にわたっての悔しい敗戦となりました。我慢する展開が長く続いています。抜け出せるよう、取り組んでいきたいと思っております。本日も応援ありがとうございます。	
				25 第2セット 17					
				25 第3セット 20					
				第4セット					
				第5セット					
要約レポート									
ウルフドッグス名古屋と大分三好ヴァイセアドラーの戦い。第1セット、序盤はWD名古屋の高梨と榊山、大分三好はストックトンのスパイクなどで1点ずつを取り合う両者譲らない展開となる。8-9の場面から、WD名古屋は高梨のサーブで相手を崩し3連続得点を奪い逆転すると、さらに続く近もサーブで相手を崩し3連続得点とし、14-10と抜け出す。リードを保ったままWD名古屋がセットを先取る。第2セット、WD名古屋の連続得点が目立つ展開となる。8-8の場面から、前田のサーブで相手を崩し、近のブロックなどで4連続得点。さらに20-17の場面からは、メンバーチェンジに入った永露がサーブで相手を崩し5連続得点と、効率よく得点を重ねたWD名古屋がセットを連取る。第3セット、序盤は1点ずつを取り合う好ゲームとなる。WD名古屋は効果的なサーブで大分三好を崩しリズムを掴みたいところであったが、大分三好はストックトンのスパイクなどで4連続得点を奪い、競った展開となる。両者我慢の状況が続いたが、終盤にWD名古屋が高梨のスパイクやブロックなどの連続得点で抜け出す。そのままこのセットを奪い、WD名古屋がストレートで勝利した。									
試合番号 : 159		試合会場 : このはアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 1,200			
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:54		試合時間 : 01:54		主審 : 江下 毅		副審 : 新田 浩幸	
東レアローズ		通算 7勝 5敗 ポイント : 20		25 第1セット 19		堺ブレイザーズ		通算 5勝 7敗 ポイント : 16	
監督コメント	堺ブレイザーズの強いサーブに苦しめられました。途中から入った米山のサーブレシーブがチームの勝利にかなり貢献してくれたと思います。また、米山と同期の富松がコートに入ったことにより、チームが締まったことも大きかったです。ホームゲーム2連勝ができたのは、応援してくださった皆さんのおかげです。ありがとうございました。			3		1		昨日の敗戦を受け、修正を加えて今日のゲームに臨みました。我々のプレーも決して悪くはなく、また向上した部分も多々あったが、相手のディフェンスとパダル選手に素晴らしいプレーをされてしまいました。また来週のホームゲームに向けて万全の調整をして臨みます。本日もたくさんの応援、ありがとうございます。	
				20 第2セット 25					
				25 第3セット 20					
				25 第4セット 23					
				第5セット					
要約レポート									
ホームで連勝を飾りたい東レアローズと、アウェーを五分で折り返したい堺ブレイザーズの対戦。第1セット、序盤は両チーム激しい打ち合いで白熱した展開となる。中盤に東しは高橋、藤井のサービスエースが決まり、18-14と堺を突き放す。終盤、堺はジョンの得点で取り返すも、東しはパダル、峯村が決めて、セットを先取った。第2セット、両チームともブロックが機能する。堺は樋口、ジョンの得点で先行する。東しはパダルが決めて粘ったが、堺は開田のトスワークで相手ブロックを翻弄させたところをジョンが決めるなどして、セットを取り返した。第3セット、東しは藤井のサービスエースや富田、パダルがアタックを決めて流れを作り、中盤もパダルがサービスエースやアタックを決める。堺もジョンのアタックやサービスエースなどにより対抗するが、終盤、東しは高橋やパダルが得点し、このセットを制した。第4セット、堺・開田がサーブで揺さぶり東しのサーブレシーブを崩す。中盤、互いに粘り強いレシーブが続くが、東しは富松のブロックや李、パダルのアタックで追いつく。堺も出田や高野のアタックで突き放そうとするが、東し・パダルを止めることができず、東しがこのセットを逆転で制し、7連勝を飾った。									
試合番号 : 160		試合会場 : このはアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 1,200			
開始時間 : 15:00		終了時間 : 17:11		試合時間 : 02:11		主審 : 高橋 宏明		副審 : 服部 篤史	
ジェイテクトSTINGS		通算 9勝 3敗 ポイント : 23		25 第1セット 23		FC東京		通算 2勝 10敗 ポイント : 9	
監督コメント	FC東京の粘りのあるディフェンスや自チームのミスで中々リズムを作ることができていませんでしたが、途中出場の小林がトスで流れを作り出して、勝利する一助ができました。来週の刈谷ホームゲームに向けて準備をまいります。静岡大会の2日間、たくさんの応援ありがとうございます。今後とも応援の程、よろしくお祈りいたします。			3		2		今週も上位チーム相手にフルセットで敗れたのは残念であるが、チームは確実に成長していると感じる。出場メンバーも途中出場した選手も、それぞれ活躍したがあと少しであった。まだまだ成長していけるチームなので、来週以降もしっかりと準備をして臨み、勝ち続けていく。今週も素晴らしい環境の中で試合をさせていただき、ありがとうございました。	
				21 第2セット 25					
				25 第3セット 23					
				24 第4セット 26					
				15 第5セット 13					
要約レポート									
第1セット、序盤から拮抗した試合が繰り広げられるが、ジェイテクトSTINGSは西田、藤中を中心に攻めリードを広げる。FC東京もプレモビッチのバックアタックで流れを奪い返し反撃する。20点以降は要所でジェイテクト西田がスパイクを決め、セットを先取った。第2セット、FC東京がサービスエースで先制し、迫田のレシーブから得点を重ね、ジェイテクトが追う展開となる。ジェイテクト久保山が相手ブロッカーに的を絞らせない多彩なトスから得点をして同点に追いつく。終盤はFC東京が井上のサービスエースから連続得点し、セットを取り返した。第3セット、ジェイテクトの福山、藤中がブロックを決めリードする。FC東京は古賀の安定したサーブレシーブから佐藤、迫田のスパイクで流れを掴み接戦となる。ジェイテクトは西田のサーブから流れを引き寄せ、このセットを取った。第4セット、激しいラリーが続く中、FC東京はプレモビッチ、ジェイテクトは藤、フェリベを軸とした攻撃で得点し、中盤まで互いに譲らず、デュースにもつれ込む。FC東京の平田が得点を重ね、勝負は最終セットに持ち込まれた。第5セット、ジェイテクト西田、FC東京プレモビッチの両オポジットの打ち合いとなり、試合の行方が分らない白熱した展開となる。14-13の場面から、ジェイテクト西田がスパイクで得点し、ジェイテクトがフルセットの熱戦を制した。									